

よめい かが 大和の嫁入り駕籠 つくりかた

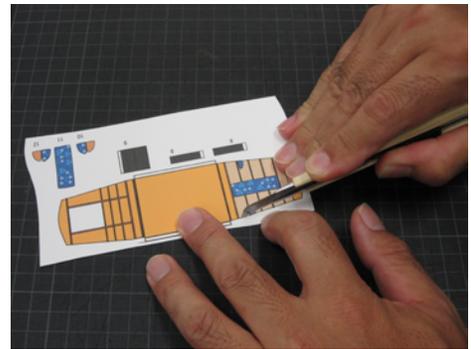


容易するもの：

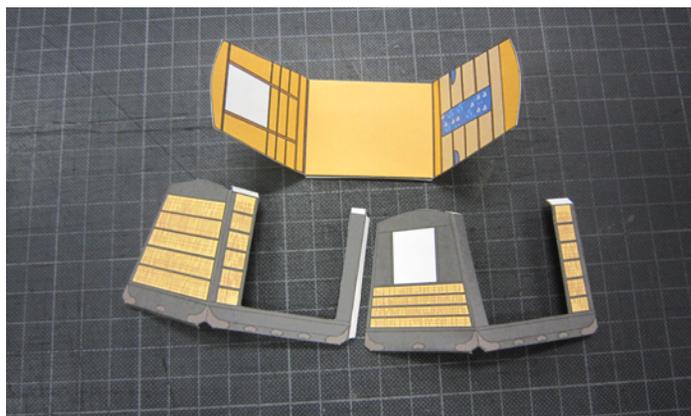
クラフト用紙に印刷した用紙、カッター、定規、はさみ、木工用ボンド、ピンセット、糸またはこより（今回の完成写真はこよりを使用）



切り抜く前に、カッターの背で折り筋をつくる。



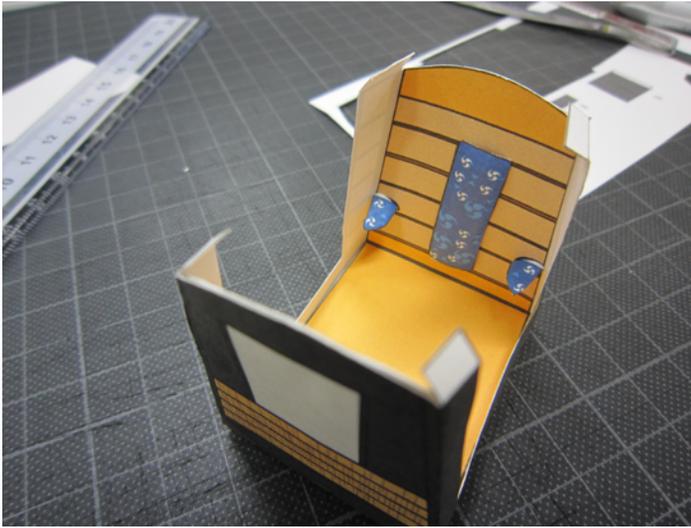
部品を切り抜く時はカッター・ハサミで丁寧に。



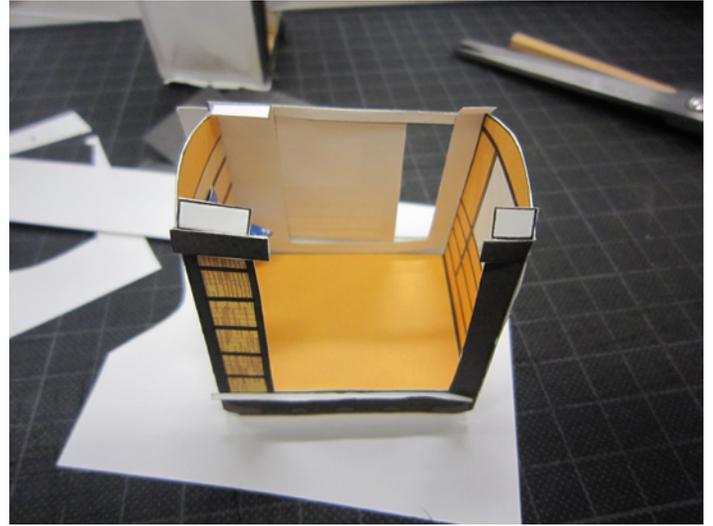
内装（3）、本体外部（1・2）を切り抜き、写真のように折り目をつける。1・2は接着して箱状に張り合わせる。



背もたれ・肘置きのパーツ（10～12）は、先端の丸い鉛筆の裏などで丸み癖をつけ、中に紙の端切れを入れて膨らませる。



本体外装部品に内装部品を貼り合わせ、背もたれと前側の机(9)をつける。



扉用の棧となる4(上部)・5(下部)を本体上下に貼り付ける。2つ折りにして扉の棧となるように向きに注意して貼る。右扉側(部品1)の上部棧は、好みで出入口部を切り落とす。

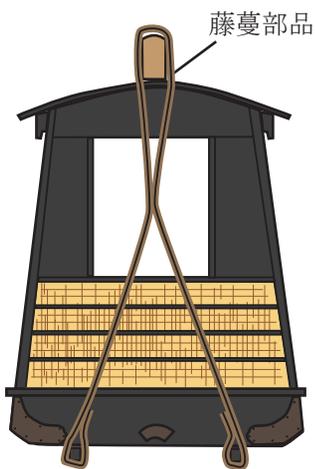


本体に屋根(7)を貼り付ける。好みで乗降口部分に切れ込みを入れて跳ね上げ構造を表現する。

扉(部品13)の窓部に簾(14)貼る。14は適宜しわをつける。駕籠正面の窓にも簾(15)を貼り付ける。

担ぎ棒(16・17)を箱状に組み立て、屋根の幅に合わせて吊り金具パーツ(8)を巻き付ける。

土台となる2本の棒材(6)を箱状に組み立て、本体の下部に接着する。



長さ18cm前後の紙紐(こより)または糸で、台部の棒材と担ぎ棒を結ぶ藤蔓部品を表現する。配置は左図のとおり。



完成！